

一機関誌「護憲浜松」から見た一

(Ⅱ)「浜松市憲法を守る会」略史

資料提供：岡田憲八、原稿：杉山憲示、編集：高橋 博

〔発足の記録〕

- 1964年6月15日 「浜松市憲法擁護国民会議」（仮称）発足式 於 遠州教会
1964年7月23日 上記仮称を「憲法擁護浜松地区連合」（通称 浜松市憲法を守る会）と改め発足総会を開催。
於 遠州教会
この日が「浜松市憲法を守る会」の前身となる護憲組織の発足日となった。 この日「護憲浜松」第1号が発行された。Ⅱ

〔綱領と規約〕

- 浜松市憲法を守る会 綱領 1、私たちは、憲法を尊重し、その完全実施を要求します。
1、私たちは、戦争の否定と、民主主義及び人権擁護のために、日本国憲法を守りその改悪に反対します。
- 浜松市憲法を守る会 規約 第1条、この会は憲法擁護浜松地区連合（通称浜松市憲法を守る会）といい、事務所を浜松市紺屋町95 遠州教会内におきます。
第2条、この会は、平和憲法を守り、これを完全実施させることを目的とし、その実現のためあらゆる運動をおこないます。
第3条、この会は、その趣旨に賛同する個人をもって構成することを原則とし、信義と友愛のもとに民主的に運営し、統一して行動をおこします。（但し、常任委員会の承認を得た団体加入は認めます）
第4条、この会を運営するために、（1）総会、（2）委員会（3）常任委員会を置きます。
但し議事運営規則は別に定めます
第5条、この会の役員は、（1）代表委員若干名、（2）事務局長1名、（3）事務局次長3名、（4）常任委員若干名、（5）委員若干名を総会で選任します。
第6条、この会に顧問を置くことができます。顧問は常任委員会で推薦します。

第7条、この会の経費は個人の及び団体の会費並びに寄付金でまかいません。

第8条、この規約は昭和39年7月23日より実施します。
憲法擁護浜松地区連合（浜松市憲法を守る会）

〔運動略史〕

- 1964年 9月11日 「憲法擁護講演会・静岡大学教授・鈴木安蔵」
於 浜松市児童会館 満員
(鈴木安蔵・2007年 映画「日本の青空」で主人公の憲法学者)
- 11月 4日 自衛隊基地へ抗議デモ（戦車や大砲の市内パレード中止を訴える・13名参加）
- 11月 5日 松本美実牧師「戦争準備絶対反対」のプラカードを掲げ、自衛隊創立14周年記念 空・陸大パレード（市内）に抗議の一人デモを敢行。11月6日付中日新聞遠州版に写真付きで報道された。
(これが後の調査で、浜松市憲法を守る会平和行進の第一回目の行進として確定、承認された。以後、600回の護憲平和行進の記録は、別資料「護憲行進六百回の記録」を参照)
- 12月 6日 憲法擁護市民デモ テーマ 原潜・戦争準備反対
- 1965年10月15日 ベトナム戦争反対デモ
- 1968年3月11日 建国記念の日反対デモ実施。この日から毎月第二日曜日に必ず護憲平和行進を実施す事が申し合わされ、以後連続と続けられている。なお、この日の行進は64年11月の松本牧師の一人行進から数えて13回目の行進であった。
- 1975年 5月25日 「護憲浜松」21号 総会方針に見る 事務局長・井原素三
当面の重点運動 (1) 参院選・知事選そして統一地方選
(1974年度) (2) 政教分離の問題「浜松市政教分離原則侵害違憲訴訟」・浜松市における政教分離
(3) 靖国神社法案・刑法改悪反対・教育反動化阻止の問題
(4) 職場・地域に「憲法を守る会」を結成する問題
(5) 「陸軍爆撃隊発祥の地」記念碑撤去の件
当面の重点運動 (1) 財政面を含めて、職場・地域に「憲法を守る会」を組織する
(1975年度) (本年度は職場護憲結成を重点に行う)

- (2) 積極的に会員増加運動を推進し、集金体制を確立する
- (3) 毎月第二日曜日の平和行進の参加者の増大をはかり、市民運動としての輪を広げる。
- (4) 県護憲組織の再建をはかり、県内の他の地域の護憲の組織化を働きかける。
- (5) 「陸軍爆撃隊発祥の地」記念碑および由来記を撤去させるため、基地反対市民会議に働きかける。
- (6) 伊場遺跡を守る会の訴訟を積極的に支援する。

1976年 6月25日 「護憲浜松」23号 総会

事務局長・井原素三

当面の重点運動 (2) 憲法施行30周年記念行事を積極的に取り組む
(重複省略) (5) 長沼・百里基地訴訟を積極的に支援する。

◎ 衆院選・参院選推薦候補

衆院静岡第3区 斎藤正男代表委員

参院静岡地方区 勝又武一県評議長

1977年 8月10日 「護憲浜松」24号 総会方針

事務局長・井原素三

長期的展望に立った運動 (5) 教育の歪是正のための運動を行う。
(重複省略) (6) 浜松市における政教分離原則の確立と浜松護憲市政の実現自治会民主化を推進する。
(7) 反戦平和に徹し、基地撤去、軍備撤廃のための闘いを強化する。
(8) 核兵器の全廃を要求し、被爆者援護法を制定させる。
(9) 危険な原子力発電の設置に反対する。
(10) 公害に反対し、命と暮らしを守る運動を推進し、学習活動を強化する。

1978年 4月20日 「護憲浜松」25号 総会方針

事務局長・井原素三

護憲大会報告特集 憲法改悪反対・平和と民主主義を守る 第14回国民大会に参加して 井原素三

開会総会の報告と感想 護憲全国大会・11月1日～3日・於駿府会館 溝口正

婦人部会に参加して 中村幸子

護憲大会の感想 小村浩夫

1979年 2月 1日 「護憲浜松」27号 に見る主張

元号法制化と天皇制ファシズム 高瀬博

- 地方自治と民主主義 元信たかし
 国際児童年に寄せて一児童憲章のゆくえ 中村幸子
- 1979年 3月28日 「護憲浜松」28号 に見る 統一地方選挙対応
 統一地方選挙にあたって 常任委員会
 立候補予定者の決意 1980年代の課題 県議会議員 杉浦正男
 決意をあらたに 県議会議員 内山高
 再選にむけて 市議会議員 小林よしゆき
 失業問題から権利を守るたたかいへ
 市議会議員 土屋じゅんいち
 護憲と有事立法と 市議会議員 中村幸子
 住民運動と浜松市政 市議会議員 岩瀬たけし
 憲法と市政 市議会議員 元信たかし
 市長選挙について 編集部
- 1979年 5月30日 「護憲浜松」29号 活動方針
 (1) 会員の再登録を9月までに実現する。
 (2) 護憲行進を今迄通り続ける
 (3) 8月の原水禁大会、15日の敗戦記念日を中心に
 して8月を「反戦平和月間」として行動する。
- 1979年 9月20日 「護憲浜松」30号 総会報告
 (提案) 違憲白書運動のとりくみ 広瀬政雄
- 1980年 5月 5日 「護憲浜松」31号 総会方針
 (重複省略)
 (4) 定例役員会を開催する。
 (5) 積極的に違憲事実の告発を進めその変革のためた
 たかう
 (6) 2・11、憲法記念日、敗戦記念日には何らかの
 啓発宣伝活動を実施する。
 (8) 浜松地区護憲構想については引き続き検討し展望
 をひらく。
- 1980年12月15日 「護憲浜松」32号
 いよいよ正念場にさしかかった護憲運動 事務局長 溝口正
 護憲大会報告(その1) 高瀬博
 護憲大会報告(その2) 広瀬政雄
 「子供と親のための映画のつどい」後日記 大庭順子
 日本国憲法 前文
- 1981年 6月 5日 「護憲浜松」33号
 (1) 沖縄からの証言 中村幸子

- (2) 護憲行進をふり返って 岡田憲八
- (3) 虚構の政治風土 高瀬博
- (4) あたらしい憲法のはなし 戦争放棄 高瀬博

1984年 1月30日 「護憲浜松」38号

- (1) 護憲運動を担った人々
名倉とみさん 広瀬政雄さん 溝口正
- (2) 衆議院総選挙は果たして勝利か 溝口正
- (3) 護憲大会報告 酒井英司

1985年 5月 7日 「護憲浜松」41号

活動の総括 中曽根内閣は相変わらず軍備増強を強行しています

方針 (1) 会員増加のために積極的に取り組む

- (2) 護憲意識の向上のために
- (3) 平和行進に積極的に取り組み、参加者を増やし、マンネリ化しないよう絶えず工夫を重ねる
- (4) 定例役員会を開催し、運動の計画、準備を皆で進める
- (5) 地方議会の反動決議を阻止するため連帯を拡大する。決議がなされた場合に、徹底的にたたかう手段、方法を学習し、準備をすすめる。
- (6) 浜松護憲の加盟団体として、護憲運動が真に前進し、拡大するよう積極的に貢献する。
- (7) 2・11、5・3、8・15、10・21、11・3などは浜松護憲と共に広汎な団体と協力して集会や宣伝活動を実施する。
- (8) 基地反対市民会議、原水禁運動、基地反対萩丘地区住民の会、生命とくらしを守る住民運動、民主団体などとの連帯を強化し、力量に応じて協力態勢を進める。
- (9) 違憲事実の告発を進め、その変革のためにたたかう。
- (10) ミッドウェー艦載機の訓練基地化に反対し、「新聞広告による反核・平和の運動」「非核都市宣言」実現のために努力する。

1988年 6月 3日 「護憲浜松」45号方針

(重複省略)

- (8) 平和遺族会・基地反対市民会議、原水禁運動、基地反対萩丘地区住民の会、核をなくす市民の会、無実の死刑囚袴田巖さんを救う会、生命とくらしを

守る住民運動、民主団体などとの連帯を強化し、
力量に応じて協力態勢を進める。

(10) ミッドウェー艦載機の訓練基地化・ブルーインパルス飛行・実戦基地化に反対する。

(11) 三宅島のミッドウェー艦載機の訓練基地化反対の支援をする。

平和憲法よ、輝け 5月3日・憲法記念日おめでとう

おお、日本国憲法よ
おまえは平和憲法と呼ばれ
敗戦で打ちひしがれた国民の心に
平和国家建設の夢を与え
ふたたび軍備を持たず
永久に戦争を放棄して
世界平和の礎たらんと決意を抱かせた

おお、日本国憲法よ
おまえは民主憲法とよばれ
国民を国家の主人（主権者）とし
すべての人間に基本的人権を保障し
非武装・戦争放棄の決意を宣言した
これらすべてが
国民の心を躍らせ
日本の未来を明るく照らした

おお、日本国憲法よ
おまえは世界一スバラシー
世界各国が 第九条を見ならって
軍備全廃・戦争放棄を実行したら
必ず世界平和は実現します
平和憲法が世界の憲法になる日こそ
人類の希望です
おお、世界平和の礎、平和憲法よ！

こんな立派な憲法を
つぶそうとしているのは誰ですか

防衛費を突出させ、軍事大国化をねらっているのは誰ですか
靖国神社（戦争のための神社）公式参拝を強行するのは誰ですか
日米合同演習をひんぱんにやるのは誰ですか
主権者国民に「君が代」を押し付け、臣民にしようとするのは誰ですか
間接税を取り立てて、軍備増強をねらっているのは誰ですか
ああ、平和憲法をつぶそうとしている愚かな人々よ

五月三日は憲法記念日です
いちばん大切な祝日の中の祝日です
平和憲法にふさわしい日本を作るために
みんなが力を出し合いましょう
平和憲法万歳！おめでとう！

1988年5月8日（日）第256回 護憲平和行進

浜松市憲法を守る会

1991年5月29日 「護憲浜松」48号

（重複省略） 運動方針（10）浜松基地の拡張強化・ブルーインパルス飛行・実戦基地化に反対する

（12）300回記念の護憲平和行進を幅広い団体に呼び掛けて開催すると共に、300回までのチラシの総集編を作成する。

1996年 5月29日 「護憲浜松」53号

（重複省略） 活動方針（1）国際的にも国内的にも憲法第九条の「出番である」ことを高くかかげて、これを実行することのできる政権担当能力のある新たな真の護憲勢力の結集に努力する。特に若者への参加を呼び掛ける。

（2）⑤ 当面、防衛費の削減（目標は全廃）と海外派兵阻止、浜松基地へのAWACS配備阻止のため全力を尽くす。

⑪浜松基地撤去をめさし、航空機博物館建設反対・ブルーインパルス飛行反対のたたかいをすすめる。

（3）年会費の変更

現行「年千円」を「年二千円」に変更

1999年 1月29日 「護憲浜松」56号

（1）「戦前」を思わせる最近の情勢

（2）小沢明美さんを市会議員候補として推薦

1995年4月9日行進チラシ掲載 AWACS 2200億円(予算)を阪神大震災の救援費用にふり替えよう!

1998年12月13日行進チラシ掲載 1998年を送る
腐りきった日本政治・社会の裏側が丸見えになった一年だった!
見よ、背任、汚職、ワイロ、不正の泥沼

1999年1月10日行進チラシ掲載「法相発言」と「周辺事態措置法案」の行くえ
2000年 6月 1日 「護憲浜松」59号

(重複省略) 具体的な活動方針 (1)「憲法」は、権力を抑制し、個人の人権・自由・権利を守るトリデであることを啓発し、宣伝して、市民に自覚を促す。

(2) 森首相の「日本は、天皇中心の神の国」発言に対し「日本は国民中心の民の国」であることを、より鮮明にし、国民主権を堅持する運動を強化する。

(3) 昨年、NGO主催のハーグ平和会議は、日本国憲法九条を手本にすることを国連に提案した。この機会を逃さず、国際的に運動を広げる手だてを探り、更に、この第九条を世界に広める努力を始める。

(4) 国際的にも、国内的にも、行き詰まりつつある状況を突破するのは、これまでの力の政策を百八十度転換して、憲法第九条の非武装・戦争放棄しか、道が残されていないことを、政府や国民に訴え続けていく。また、これを実行できる真の護憲勢力の結集にも努力する。このため市民、特に若者たちの心に、平和の灯火を点じ。我々の運動への参加を呼び掛けていく。

(5) 主権・人権・平和の憲法感覚を鋭敏にし、憲法の精神を実現するための学習活動を強化し、当面する課題に取り込む

⑧ 政府や国民に、過ぐる侵略戦争への反省・謝罪・保障の重要性を訴えると共に、反戦平和のために立ち上がるよう訴える。

⑨ 国連NGO(非政府組織)と連帯する。

⑫ 浜松基地をめぐる諸問題（騒音対策、航空祭、ブルーインパルス、航空博物館の監視など）に対応し、最終的には基地を撤去して、**平和都市・浜松**の実現に努力する。

⑬ 「新靖国法案」を阻止すると共に、静霊奉賛会と護国神社とのゆ着をめぐる憲法違反にメスを入れ、政教分離・信教の自由の原則に戻すため、平和遺族会と共に努力する。

2002年 5月28日 「護憲浜松」61号

具体的な活動方針 (六) 有事三法、マスコミ対策法などを廃案にし、憲法改悪阻止のため全力を尽くす。

2016年 5月27日 「護憲浜松」75号

具体的な活動方針 (1) 今年度も日本国憲法の価値を市民に訴えると共に、希代の悪法「安保法制」の廃止と憲法改正阻止に最大の力点を置いて活動する。

① 今年5月10日に当会の伝統的活動たる護憲平和行進591回目の行進を迎えた。高齢化とともに参加人数は減ってきているが、人数は問題ではなく継続する事にこそ価値を見出し、2017年3月の600回に向けて行進を継続する。

② 今年度も引き続き沖縄辺野古基地建設に反対すると共に沖縄からの基地撤去を求めて行く。

③ 憲法は平和の基礎（九条）であるとともに、障がい者や高齢者、貧困者を守る砦（25条）でもあることを毎月の行進や集会などを通じて発信して行く。

④ 「2・11」「5・3」「6・18」「8・15」「12・8」など平和に関わる節目ごとに「浜松・憲法9条の会」「愛・平和の会」を初めとする市民の平和団体と協力し憲法改正阻止に向けて行動する。

⑤ 人を殺す道具である武器の輸出と原発の再稼働を認めない。

(2) 現在の選挙制度（小選挙区制）を温存することは、僅かな得票率で民意と乖離した政権を延命させる事につながるなのでこの制度の見直しを今年度から新たに訴える。また経過措置として、まずは危

険な現政権の暴走を止めるため小異を捨てて大同につく事を支持して行く。

(3) 平和遺族会を初めとする市民平和団体と協力し、米軍再編に連動した浜松基地の憲法逸脱化の動きを監視、抗議活動を通じて、最終的には基地のない平和都市を目指す運動に取り組む。

(4) 思想・良心の自由及び政教分離の原則に照らして国旗・国歌強制に反対し、表現の自由制限の動き、静霊奉賛会の動きにも引き続き監視の目を注いで行く。

(5) 引き続き会員の増加、カンパ協力の活動に力を入れる。

〔運動を担った人々〕

- 1964年7月23日 「護憲擁護浜松地区医連合」(浜松市憲法を守る会)の総会が開催され、以下の役員が決まった。
代表委員・松本美実(遠州教会牧師)・斎藤正男(県会議員)
・山口文太郎(静大助教授)・加藤老男(遠労議長)
・小沢信俊(静大助教授)
- 1973年5月13日 (憲法擁護浜松地区連合1973年度役員)
代表委員・松本美実・斎藤正男・小沢信俊・
事務局長・溝口正
事務局次長・井原素三・酒井英司・下位恭司
会計・内田英一郎・杉山憲示
常任委員・加藤仙太郎・中村幸子・平野鈴子・藤原東洋治
・鈴木基之・松原辰宣・鈴木まさゑ・大屋智代
・高瀬博・堀神一
会計監査・広瀬政雄
- 1979年9月20日 「護憲浜松」第30号(1979年度役員)
代表委員・松本美実・斎藤正男・溝口正・西村一之
事務局長・井原素三
事務局次長・岡田憲八・山内一三・高瀬博・
会計・内田英一郎・杉山憲示
常任委員・中村幸子・藤原東洋治・元信たかし・大屋智代

・鈴木まさえ・下位恭司・土屋淳一・大木昭八郎
・酒井英司・鳥居弘起・田村忠夫・由井賀代子

1980年12月15日 「護憲浜松」第32号（1980年度役員）

代表委員・松本美実・斎藤正男・西村一之・井原素三
事務局長・溝口正
事務局次長・高瀬博・岡田憲八・渡邊英雄
常任委員・中村幸子・元信たかし・鳥居弘起・下位恭司
・大屋智代・酒井英司・佃和男・松原辰宣
・大庭順子・名倉とみ・山内一三・鈴木婦美
・杉山憲示（会計）・内田英一郎・吉田次男（遠労）
会計監査・平野健二・小沢明美

1985年5月12日 「護憲浜松」第41号（1985年度役員）

顧問・松本美実・斎藤正男・井原素三・西村一之
代表委員・溝口正・中村幸子・小林真・元信堯
事務局長・岡田憲八
事務局次長・高瀬博（機関紙担当）・大庭順子
常任委員・酒井英司・大屋智代・内田英一郎・内山敬詞
・杉山憲示（会計担当）
会計監査・小沢明美・平野鈴子

1988年6月3日 「護憲浜松」45号（1988年度役員）

代表委員・溝口正・中村幸子・小林真・元信堯・井原素三
事務局長・岡田憲八
常任委員・酒井英司・大屋智代・内田英一郎・杉山憲示
・小沢明美・近藤良夫・高林茂・鈴木まさえ
会計監査・平野鈴子・大庭順子

1991年5月29日 「護憲浜松」48号（1991年度役員）

代表委員・溝口正・中村幸子・小林真・元信堯・井原素三
事務局長・岡田憲八
事務局次長・高林茂
常任委員・酒井英司・大屋智代・内田英一郎・杉山憲示（会計）
・小沢明美・近藤良夫・鈴木まさえ
会計監査・平野鈴子

1994年6月21日 「護憲浜松」51号（1994年度役員）

代表委員・溝口正・井原素三・元信堯・小林真
事務局長・岡田憲八
事務局次長・高林茂

常任委員・酒井英司・大屋智代・小沢明美・近藤良夫
・古田良司・鈴木英夫・杉山憲示（会計）

会計監査・平野鈴子

1996年5月29日「護憲浜松」53号（1996年度役員）

代表委員・溝口正・井原素三・小林真

事務局長・岡田憲八

事務局次長・高林茂

常任委員・酒井英司・大屋智代・杉山憲示・小沢明美
・近藤良夫・鈴木英夫・鈴木喜六・高橋博

会計監査・平野鈴子

2000年6月1日「護憲浜松」59号（2000年度役員）

代表委員・溝口正・井原素三・小林真

事務局長・岡田憲八

事務局次長・高林茂

常任委員・酒井英司・大屋智代・杉山憲示・小沢明美
・近藤良夫・鈴木英夫・鈴木喜六・高橋博・小池善之

会計監査・平野鈴子・鈴木まさえ

2002年5月28日「護憲浜松」61号（2002年度役員）

代表委員・溝口正・井原素三・小林真

事務局長・岡田憲八

事務局次長・高林茂

常任委員・酒井英司・大屋智代・杉山憲示・小沢明美
・近藤良夫・鈴木英夫・鈴木喜六・高橋博・小池善之

会計監査・平野鈴子・鈴木まさえ

2007年7月8日「護憲浜松」66号（2007年度役員）

代表委員・小林真

事務局長・岡田憲八

常任委員・大屋智代・酒井英司・杉山憲示（会計）・小沢明美
・近藤千鶴子・鈴木喜六・高橋博・水戸潔

会計監査・平野鈴子

2008年7月13日「護憲浜松」67号（2008年度役員）

代表委員・小林真・酒井英司・水戸潔

事務局長・岡田憲八

常任委員・杉山憲示（会計）・小沢明美・近藤千鶴子
・鈴木喜六・高橋博

会計監査・古川道子

2013年6月9日「護憲浜松」72号(2013年度役員)

代表委員・小林真・酒井英司・水戸潔

事務局長・岡田憲八

常任委員・杉山憲示(会計)・小沢明美・近藤千鶴子
・鈴木喜六・高橋博・関根弘輝

会計監査・古川道子

2015年6月14日「護憲浜松」74号(2015年度役員)

顧問・酒井英司

代表委員・水戸潔・杉山憲示(会計)・小沢明美

事務局長・岡田憲八

事務局次長・関根弘輝

常任委員・近藤千鶴子・鈴木喜六・高橋博

会計監査・古川道子

〔講演会、共闘行動等〕

- 1974年11月23日 浜松護憲創立十周年記念集会 講演「少数者の人権」
講師(今村弁護士)
- 1975年 2月11日 静岡靖国連絡会主催集会 講演「信教の自由とデモクラシー」
講師(宮田光夫氏・東北大)
- 1976年 5月 3日 静岡憲法を守る会結成記念講演会「政治腐敗と憲法」
講師(福島新吾氏)
- 1977年 5月11日 憲法施行30周年記念講演会 「憲法と婦人」男にも聞いても
らいたい話 講師(評論家・樋口恵子氏)
- 1979年 1月26日 飛鳥田社会党委員長講演会
8月13日 戦争を語り継ぐ映画の夕べ「沖縄のハルモニ」
- 1980年 8月 1日 敗戦記念平和講演会 「80年代その危機と展望」
講師(山川暁夫氏)
3日 子と親のための映画のつどい「ピカドン、時計は生きていた
沖縄の話」
- 11月 6日 憲法改悪反対、靖国神社国営化阻止静岡県西部集会
決議文首相へ 講師(渡邊信夫氏)
- 1981年 2月 4日 県西部護憲主催 護憲大学 「主権在民と政教分離原則」
報告(溝口正氏)
- 1990年 9月 7日 浜松護憲講演会 「今日の朝鮮政策を考える」
講師(田英夫氏)

- 1 1月12日 即位の礼・大嘗祭の憲法違反をたゞす静岡県西部集会とデモ
講演「即位の礼・大嘗祭を問う」 講師（西川重則氏）
- 1991年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会
講演「象徴天皇制と今後の課題」 講師（近藤真氏）
- 5月 3日 憲法記念講演会 講演「歴史の中の日本国憲法」
講師（小池善之氏）
- 1995年 6月18日 AWACS市民の会講演会 講演「地方自治体は平和のために
何ができるか」 講師（小林武氏）
- 8月15日 8・15平和を願う合唱と講演の集い
合唱「8月の青い空」浜松大空襲命の記録合唱団
講演「敗戦50年・平和への新たな出発」
講師（弓削達氏・フェリス女学院大学長）
- 1996年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡西部集会
講演「2・11と人権と平和」講師（今村嗣夫氏・弁護士）
- 4月29日 AWACS講演会 「浜松基地の実戦化と平和への道」
講師（林茂夫氏・軍事評論家）
- 1999年 8月15日 8・15平和集会 講演「日の丸・君が代法制化の問題」
講演「戦争の予感と私たち」
講師（溝口春江氏 小池善之氏）
- 2000年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会
講演「戦後の原像と日本の民主主義」 講師（姜尚中氏）
- 3月20日 3・20講演会 講演 21世紀に向けて
「周辺事態法発動阻止・自治体への平和戦略」
講師（前田哲夫氏）
- 2001年 6月18日 浜松大空襲と平和憲法を心に刻む集会
講演「現代史の中の教科書問題」 講師（岩淵敏高氏）
- 8月 9日 敗戦記念平和集会
講演「平和のゆくえ」小泉政権の目指すものは何か
講師（田中伸尚氏・ノンフィクションライター）
- 10月30日 緊急平和講演会 講演「危機の中の日本国憲法」
講師（小林武氏・南山大学教授）
- 2002年 2月11日 第22回2・11集会 講演「21世紀の平和をどう築くか」
講師（小澤隆一氏・静岡大学教授）
- 3月20日 3・20反エーワックスデー講演会
講演「今、平和の論理を考える」
講師（小池善之氏・平和問題研究所代表）

- 2007年 8月15日 8・15講演会 講演「日本国憲法の精神とその背景」
講師（山本義彦氏・静岡大学副学長）
- 11月28日 愛・平和の会」学習会
講演「もし平和憲法がなくなったらどうなる」
講師（橋本誠一氏・静岡大学教授）
- 12月 6日 浜松・憲法九条の会三周年の集い
講演「12月8日とは何だったのか」
講師（樋口陽一氏・東北大名誉教授）
- 2008年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会
講演「平和の砦を一つ一つ守る」
講師（塩入隆氏・元長野県立短大学長）
- 5月 3日 憲法記念日講演会
講演「考えよう、憲法九条から見た今の自衛隊は・・・」
講師（内藤功氏・長沼ナイキ訴訟弁護団・元参議院議員）
- 8月15日 8・15講演会 講演「憲法についていま考えたいこと」
講師（高橋哲哉氏・東京大学院総合文化研究課教授）
- 10月12日 歩き続けて四十二年・500回行進
平和ライブ IN 浜松 行進終了後新川緑地 四グループ参加
- 2009年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会
講演「戦争への道のりの日本の過去と現在」
講師（安川寿之輔氏・名古屋大学名誉教授）
- 5月 3日 憲法記念日講演会 講演「田母神問題の真相と自衛隊の変容」
講師（山田朗氏・明治大学文学部教授）
- 6月19日 浜松大空襲と平和憲法を心に刻む集会
DVDによる講演と協議「いまこそ憲法の力をつけよう！」
講師（伊藤真氏・伊藤塾塾長・弁護士）
- 8月15日 2009年平和の集い IN 浜松 講演「戦争体験を語り継ごう！」
語り人（桑山源龍氏・栄秀寺住職）
- 12月 5日 憲法講演会 講演「憲法と平和と私」講師（早乙女勝元氏）
- 2010年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会
講演「日本国を建てるもの」講師（梅津順一氏）
- 5月 3日 憲法記念日の集い 講演「今、改憲をめぐる状況は？」
講師（長澤彰氏・弁護士）
- 8月15日 8・15平和の集い in 浜松 DVD上映「どうするアンボ」
～日米同盟と私たちの未来～
- 2011年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会

- 講演「歴史の偽造を許さないために」
講師（渡邊賢二氏・明治大学講師）
- 5月 3日 憲法記念日の集い 講演「改憲論のトリックを斬る」
講師（長峰信彦氏・愛知大学教授）
- 6月17日 浜松大空襲と平和憲法を心に刻む集会
講演「浜松大空襲前史」浜松陸軍爆撃隊は、アジアで何をしたか
講師（竹内康人氏・人権平和・浜松）
- 8月15日 2011年平和の集い
映画「ひめゆり」の柴田昌平監督を囲んで平和の思いを伺い語り合う集い
- 12月10日 講演会 講演「東日本大震災と日米安保条約」
講師（畑田重夫氏・国際政治学者元名古屋大学教授）
- 2012年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会
講演「国家と宗教の関係・・・過ちを繰り返さないために」
講師（小林眞氏・日本基督教団・遠州教会牧師）
- 5月 3日 憲法記念日の集い 講演「橋下維新と民主主義」
講師（榊原秀訓氏・南山大学大学院法務研究科教授）
- 6月19日 6・18浜松大空襲と平和憲法を心に刻む集会
講演「浜松基地自衛官人権裁判・・・その内容と判決の意義」
講師（塩沢忠和氏・今回の浜松裁判の弁護団）
- 8月26日 平和へのメッセージを聞く集い
講演「世界から注目される日本国憲法の輝き」
講師（小森陽一氏・九条の会事務局長）
- 12月 2日 浜松・憲法九条の会結成八周年のつどい
講演「憲法の原点と現点」
講師（横田耕一氏・九州大学名誉教授）
- 2013年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会
講演「憲法と天皇制・・・『強いリーダー』も『象徴』もいらない！」
講師（池田浩士氏・前京都大学教授 現京都精華大学客員教授）
- 5月 3日 憲法記念日の集い 講演「安倍政権と九条改憲」
講師（菅孝行氏・評論家）
- 6月18日 6・18浜松大空襲と平和憲法を心に刻む集会
講演「浜松大空襲体験談」 講師（相澤一恵氏）
講演「自民党改正草案について」 講師（水戸潔氏）
- 8月15日 平和の集い in 浜松 講演「安倍政権下における〈憲法改正〉」
講師（瀨瀬厚氏・山口大学副学長）
- 12月 4日 講演会 講演「特定秘密保護法案って何？」

- 講師（小笠原康晴氏）
- 12月 7日 12・8開戦の日を前に二度と戦争しない事を誓う
浜松市民の集い
講演「今こそ憲法どおりの日本を作ろう！」
講師（石川康宏氏・神戸女学院教授）
- 2014年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会
講演「今、改めて靖国を問う・・・安倍首相の靖国神社参拝を巡って」
講師（小林眞氏・遠州教会牧師）
- 5月 3日 憲法記念日の集い
講演「平和と生活を脅かす改憲策動にどう立ち向かうか」
講師（森孝博氏・弁護士）
- 6月25日 愛・平和の会講演会
講演「教職員の置かれている職場状況と問題提起」
講師（小山氏・県教組浜松支部長）
- 8月15日 平和の集い in 浜松 講演「平和憲法の危機」
講師（稲葉彬氏・浜松学院大学教授）
- 12月 6日 浜松・憲法九条の会講演会
講演「日本国憲法再確認」平和・くらし・民主主義の危機の中であらためて考えよう
講師（杉井静子氏・弁護士）
- 2015年 2月11日 第35回2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会
講演「戦争責任と日本国憲法」
講師（古関彰一氏・獨協大学名誉教授）
- 5月 2日 憲法記念日の集い（主催 浜松・憲法九条の会）
講演「8月革命70周年を迎えて 安倍政権の積極的平和主義を批判する」
講師（千葉眞氏・国際基督大学教養学部教授）
- 6月18日 6・18浜松大空襲と平和憲法を心に刻む集会
講演「6・18と沖縄・辺野古」 講師（水戸潔氏）
- 7月 9日 愛・平和の会（戦争法案反対の活動につて）
DVD「九条を抱きしめて」鑑賞
- 8月15日 平和の集い in 浜松（主催 浜松・憲法九条の会）
講演「集団的自衛権で日本を滅ぼしていいのか」
講師（半田滋氏・東京新聞論説委員）
- 8月25日 愛・平和の会（四者共闘会議）
- 11月16日 浜松市憲法を守る会 遠藤三郎賞受賞 フォーラム平和・人権・環境
代表（福山真劫）
- 12月 6日 浜松・憲法九条の会講演会 講演「日本国憲法再確認」

講師（川口創氏・イラク派遣弁護士）

2016年 2月11日 2・11思想と信教の自由を守る静岡県西部集会

講演「恒久平和への道を求めて」

講師（飯島信氏・日本基督教団牧師）

5月 3日 2016年憲法記念日の集い

講演「平和と安全のために安保関連法案は必要だ」ってほんと？

講師（塩沢忠和氏・弁護士 浜松・憲法九条の会呼びかけ人）

8月15日 平和の集い in 浜松（主催 浜松・憲法九条の会）

講演「安保法制に歯止めを～憲法を国民の力で守る～」

講師（木村草太氏・首都大学教授）

9月20日 「エア・フェスタ2016の中止を求める」要望書を

第一航空団司令兼浜松基地司令 平塚弘司氏に提出し中止を求める

9月25日 第一回平和トーク！&ライブ！ 主催ユニオンはままつ

「誰のため、何のため、今の平和がこれからも続くために」みんなでアピールを！！

★浜松市憲法を守る会の歌（毎月の行進で、作曲者の相原夏江さんの音頭で唱和した後、行進に出発する）

浜松市憲法を守る会の歌

（作詞・伊藤邦幸・溝口正 作曲・相原夏江）

一 軍国の闇夜は明けて

巡り来ぬ平和の朝は

平和 平和 平和

我らは二度と武器をとらじ

二 百万の血潮流れて

遺言の定め生まれぬ

平和 人権 自由

我らはこの理想に生きん

三 この都市に同志集いて

護憲の灯守り行かなん

平和 人権 自由

我らはこの理想に生きん

平和 人権 自由

我らはこの理想に生きん

〔編集注：編集にあたり参照した機関誌「護憲浜松」は古いもので散逸しているものがあります。今後発見され次第、記事を更新して行きますが、初期の頃からの会員で古い機関誌「護憲浜松」をお持ちの方はご提供頂けると幸いです〕